

2015全日本ロードレース選手権 第2戦 参戦報告書 予選16位 決勝13位

- エントリー名 : TRICK STAR Racing
- 監督 : 鶴田 竜二
- ライダー : 出口修 (#18)
- 開催日 : 4月25日(土)~4月26日(日) / オートポリス(大分県)
- マシン : Kawasaki ZX-10R
- 結果 : 予選16位 決勝13位



4月24日(金) 特別スポーツ走行 10:10~11:00 14:30~15:20

天候 : 晴れ→曇り
路面 : ドライ
気温 : 23°C→20°C
湿度 : 17%→18%
路面温度: 29°C→32°C

午前中の走行枠で2種類の仕様を確認し、予選・決勝までの走行時間を考慮し現状 まとまりが良い仕様を選び、午後からはそのマシンに集中してセットアップを行う。

ライバル達は順調にタイムを刻んで行くなか、どうしてもグリップを引き出すセットアップに繋がらない。

路面温度30°C前後に合わせたタイヤ選定も確認する。

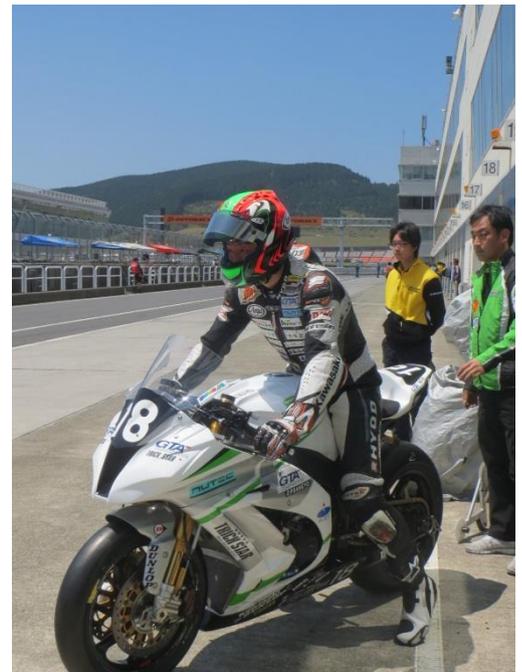
4月25日(土) 公式予選 Q1 12:50~13:35 Q2 13:45~14:00

天候 : 晴れ
路面 : ドライ
気温 : 24℃
湿度 : 20%
路面温度: 37.5℃→40℃

今回の予選はノックアウト予選で行われた。
全車Q1の45分間のタイムアタックを行い、上位10台がQ2に進める。

また、予選で使用できるタイヤ本数は2セットと限られる。
予選開始後、5周目で一度ピットイン。
フロントサスペンションのスプリング変更・オイルレベルを変更しコースイン。
予選中もマシンセットアップを行いながらの走行。
しかし、他車の転倒でレッドフラッグが提示され一時予選が中断される。コースがクリアーになり予選が再開されコースイン。

フロントサスペンションのセット変更が思わしくないのかタイムが上がってこない。計測3周を熟しピットイン。ここで銘柄の違うタイヤに変更し再度タイムアタックに入る。
計測2周目にタイムを更新し6周目にピットイン。
少しフロントサスペンションのセットをアジャスト後コースインし、セッティングの確認を行い予選終了する。
結果1分51秒982、16番手。



4月26日(日) 決勝 13:35~ 19Lap

天候 : 晴れ
路面 : ドライ
気温 : 24℃
湿度 : 24%
路面温度: 39℃

決勝日、朝からとても良い天気恵まれた。
リアタイヤのグリップが増し、車体の動きに変化が生じる。
予選で記録したタイムをウォームアップで更新する。

ウォームアップ走行からセッティングを更にアジャストし、決勝に挑む。
スタートを決め先行するマシンを抜きにかかるが1周目は1台を抜いて15番手でコントロールラインを通過する。
2周目に2台抜き13番手で帰ってくる。3周目には予選タイムを上回るタイムを記録し前車を追いかける。
しかし4周目にフロントに違和感を感じる。
6周目に前車#8が転倒し戦列から離れ12番手に上がる。

しかし7周目に#090秋吉選手に先行され13番手に。
マシンに違和感を感じながらもゴールまで秋吉選手を追いかけて続け13位でゴールしポイントを獲得する。



【ライダー 出口修 コメント】

全日本ロードレース選手権第2戦オートポリス、全国から応援に駆けつけて下さったファンの皆さんに先ずは感謝申し上げます。

今シーズンは、ヤマハがファクトリー活動を発表し、他のメーカーも主要チームの参戦台数を増やすなど、我々プライベートにとってかなり厳しい戦いになる事が予想されました。

レギュラー参戦するチームに対してレース数、テスト時間が圧倒的に少ない中、今シーズン初レースで自分達のポジションをしっかり把握し次に繋げる為の参戦と冷静に捉えて臨みました。レース結果は13位と到底納得のいくものでは有りませんでした。マシン・タイヤ等、多くの課題が見つかった事で、次への対応策を検討できるので、これを一つの成果としてポジティブの捉えチームと共に進化していきたいと思えます。今後とも応援宜しくお願い致します。



【監督 鶴田竜二 コメント】

2015年全日本選手権のスポット参戦にあたり、本来鈴鹿大会に出場したかったのですが、アジア選手権と日程が被ってしまい急遽、オートポリス大会に参戦することになりました。

事前テストも雨に降られてしまい、まともにマシンのセッティングが出来てない状態でした。

周りのチームとのハンデはあったにせよ レースですので結果を出さなければなりません。

出口選手の実力から13位と言う結果は不本意としか言いようがありません。

今回走りきれたデータをもとに、次のレースである鈴鹿8耐に繋げれる内容だったように思いますので、次の鈴鹿8耐に向け、しっかり準備を進めていきたいと思っております。

最後になりましたが、いつも私達を支えて下さっているスポンサー様をはじめファンの皆様、応援ありがとうございました！